

## 女子78kg級

### 準決勝戦第1試合

3 柴野 亜希 (大内刈) ⊖ 2 岡村 智美  
(北関東総合警備保障) (コマツ)

昨年準優勝、第1シードの柴野は初戦の2回戦を延長戦旗判定の僅差で準決勝戦に進出。片や第4シードの岡村は、2試合とも一本勝で難なく勝ち上がる。

共に女子シニア強化選手の両者、柴野右組み、岡村左組みで互いに引手を探り合うが岡村が前に出て圧力を掛ける。技の出ない柴野に1分13秒、指導1が与えられる。その後柴野は払腰、大内刈で攻撃を見せるも岡村も譲らず。

試合が動いたのは3分43秒、両者引手を持ち合い、次の瞬間柴野が飛び込みながら岡村の脇下に右手を差し込む、対する岡村は釣手を柴野の背中を押さえて左大内刈を仕掛ける一瞬の攻防の中、柴野はこれを右に振って返そうとするが、岡村はそのまま鋭く刈り込み柴野を横倒しにして技ありを奪う。

その後、柴野は大外刈、大内刈で反撃するが、岡村は難なく防いで時間となる。

### 準決勝戦第2試合

2 渡邊 美奈 ○ 背負投 2 高橋 千尋  
(了徳寺学園) (三井住友海上火災保険)

渡邊は本大会の出場久しく、階級を上げて登場。2回戦は強敵平岡（平成国際大学クラブ）の欠場による不戦勝で準決勝戦に進出した。対する高橋は2試合を寝技の一本勝で勝ち進んだ。

左組同士の対戦ながら、試合開始から両者激しい組手争いを行うが、開始13秒、渡邊の背負投が見事に決まり、一本勝。

### 決勝戦

2 岡村 智美 一本背負投 ○ 2 渡邊 美奈  
(コマツ) (了徳寺学園)

岡村左組み、渡邊右組みのケンカ組み手。岡村は上背に優るが、渡邊が開始18秒、右組みから意表を衝く低い左一本背負投が決まり技ありを先取。その後も渡邊が足技と背負投で前後に攻める。遂に2分9秒、渡邊再度の左の低い

一本背負投で岡村はぐるりと回って背中から畳に沈む。渡邊見事な一本勝で第35回大会（平成17年）70kg級優勝に続き、本大会2度目の優勝。